

Ⅱ 住宅・世帯の状況

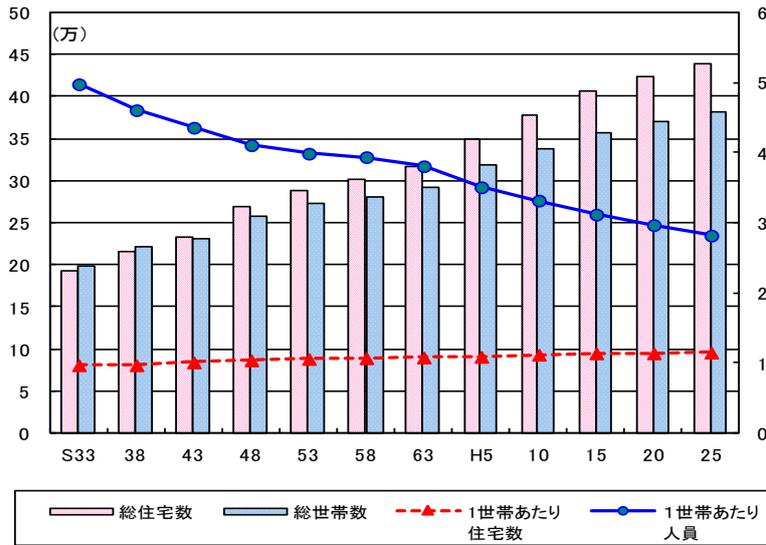
1 住宅・世帯の概況

① 総住宅数と総世帯数

総住宅数は439,000戸、増加率は5年間で3.5%増

図1、表1 総住宅数、総世帯数、1世帯あたり住宅数、1世帯あたり人員の推移
(富山県 昭和33年～平成25年) (単位 戸、世帯、人、%)

(図1)



(表1)

	総住宅数	総世帯数	世帯人員	1世帯あたり住宅数	1世帯あたり人員	総住宅数増加率
昭和33年	193,000	199,800	995,000	0.97	4.98	
38年	217,000	222,700	1,027,700	0.97	4.61	12.4
43年	234,490	232,100	1,011,610	1.01	4.36	8.1
48年	269,900	259,300	1,065,100	1.04	4.11	15.1
53年	289,800	273,200	1,091,400	1.06	3.99	7.4
58年	302,100	282,500	1,112,000	1.07	3.94	4.2
63年	317,300	293,700	1,120,200	1.08	3.81	5.0
平成5年	349,300	319,400	1,120,700	1.09	3.51	10.1
10年	379,100	339,400	1,125,900	1.12	3.32	8.5
15年	407,700	357,900	1,116,800	1.14	3.12	7.5
20年	424,300	371,100	1,100,800	1.14	2.97	4.1
25年	439,000	381,700	1,075,400	1.15	2.82	3.5

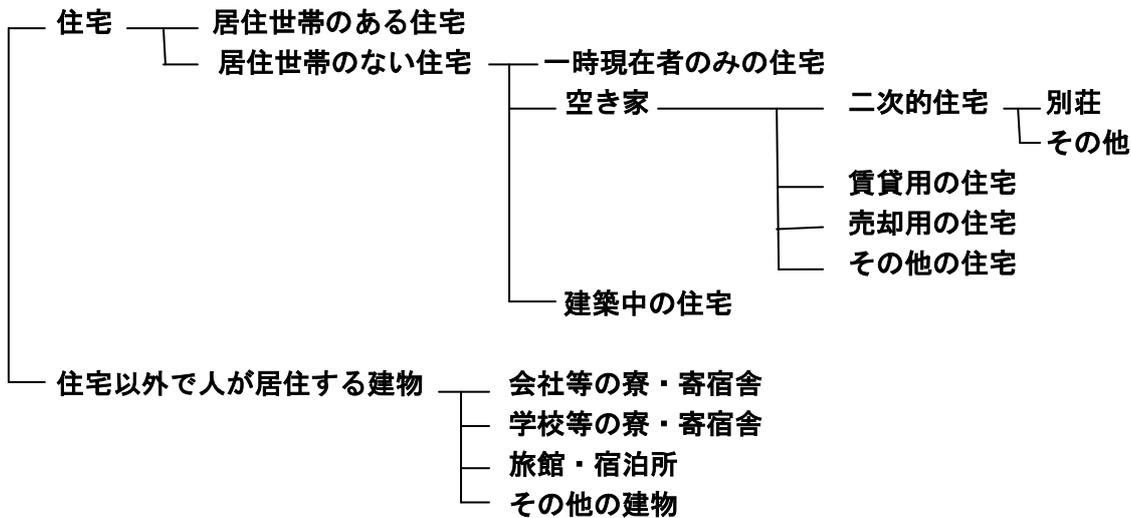
平成25年10月1日現在における富山県の総住宅数は439,000戸、総世帯数は381,700世帯となっている。平成20年に比べ、総住宅数は14,700戸(3.5%)、総世帯数は10,600世帯(2.9%)それぞれ増加している。

総住宅数は昭和43年から総世帯数を上回り、平成25年では総住宅数が総世帯数を57,300戸上回って、1世帯あたりの住宅数は1.15戸となっている。

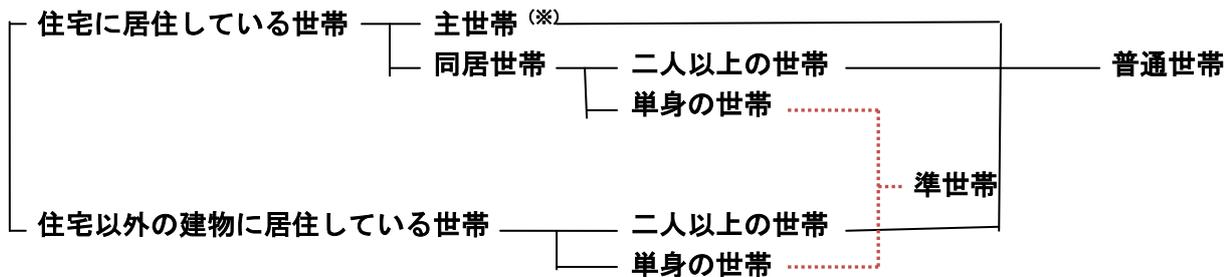
一方、1世帯あたり人員は減少傾向を続け、平成25年には2.82人となっている。(図1、表1)

住宅・土地統計調査の「住宅」、「世帯」の分類

《住宅》



《世帯》



※主世帯・・・住宅に居住している世帯のうち、1住宅に1世帯が住んでいる場合はその世帯、2世帯以上住んでいる場合はそのうちの主な世帯

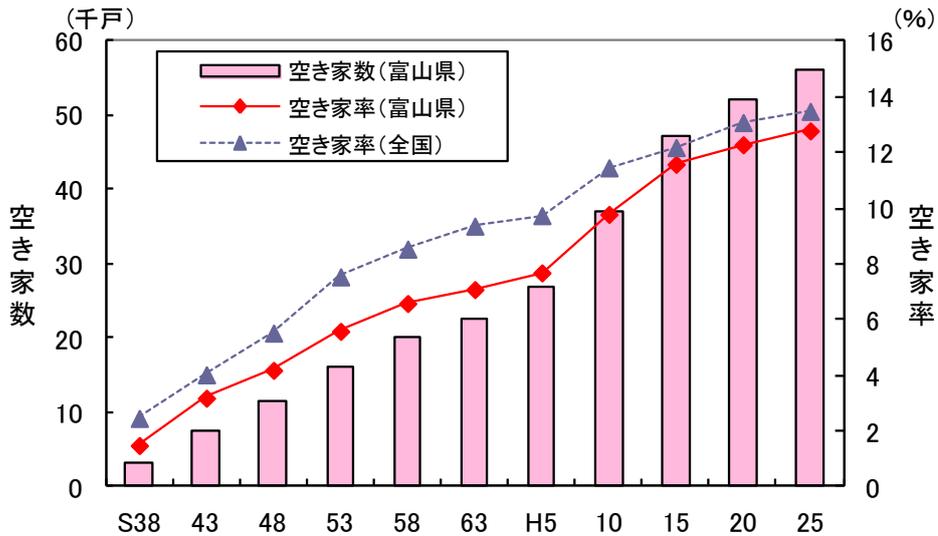
② 居住世帯の有無

総住宅数の12.8%が空き家

表2 居住世帯の有無別住宅数及び空き家率（富山県、全国）の推移（昭和38年～平成25年）

	総住宅数	居住世帯のある住宅数	居住世帯のない住宅数			空き家率(%) (富山県)	空き家率(%) (全国)
			一時現在者のみ	空き家数	建築中		
昭和38年	217,000	212,000	480	3,200	1,000	1.5	2.5
43年	234,490	225,100	840	7,440	1,110	3.2	4.0
48年	269,900	254,300	2,100	11,400	2,200	4.2	5.5
53年	289,800	269,900	2,200	16,100	1,700	5.6	7.6
58年	302,100	279,600	1,600	20,000	900	6.6	8.6
63年	317,300	291,300	2,100	22,600	1,300	7.1	9.4
平成5年	349,300	317,700	3,100	27,000	1,500	7.7	9.8
10年	379,100	337,400	2,900	37,100	1,600	9.8	11.5
15年	407,700	355,700	3,600	47,300	1,100	11.6	12.2
20年	424,300	368,800	2,800	52,200	600	12.3	13.1
25年	439,000	379,800	2,000	56,200	900	12.8	13.5

図2 空き家数及び空き家率の推移（昭和38年～平成25年）



総住宅数について、居住世帯の有無別にみると、「居住世帯のある住宅」は379,800戸で、86.5%、「居住世帯のない住宅」（ふだん人が居住していない住宅）は59,100戸で、13.5%となっている。

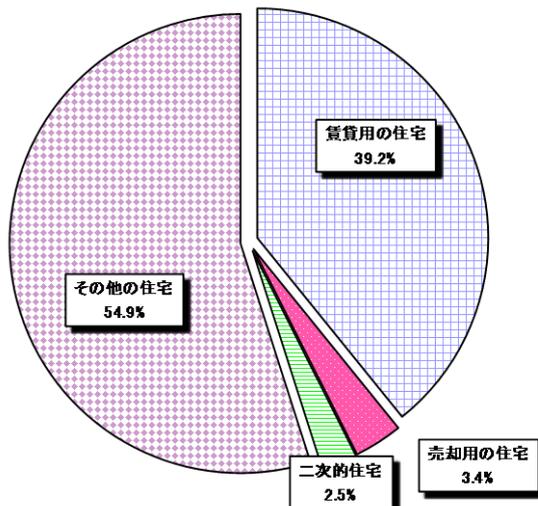
居住世帯のない住宅のうち「一時現在者のみ（昼間だけ使用している、何人かの人が交替で寝泊まりしているなど、そこにふだん居住している者が一人もいない住宅）」、「建築中」の住宅を除く空き家についてその推移をみると、昭和38年の3,200戸から一貫して増加し、平成25年には56,200戸となり、**空き家率**（総住宅数に占める空き家の割合）についても、昭和38年の1.5%から、平成25年には12.8%に上昇している。（表2、図2）

③ 空き家数の内訳

空き家のうち半数以上が「その他の住宅」※

※その他の住宅・・・住世帯が長期にわたって不在の住宅や、建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など

図3 空き家数の内訳（富山県：平成25年）



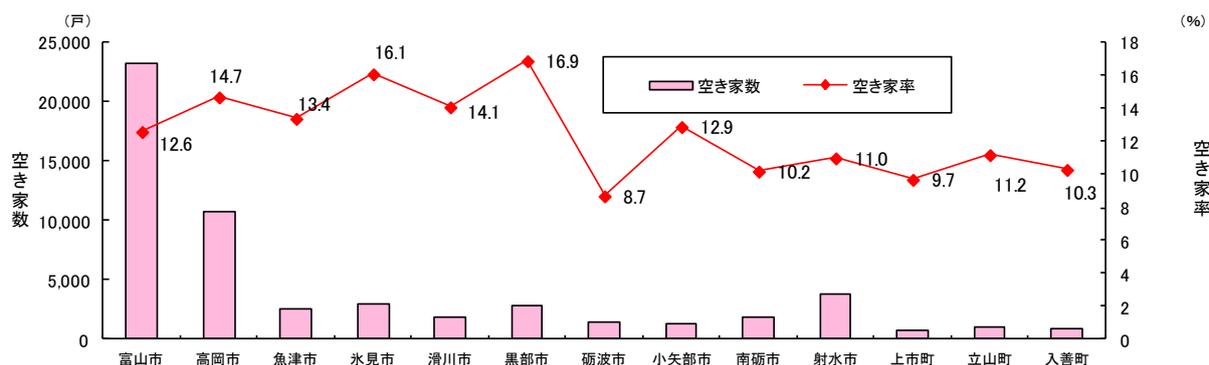
空き家数の内訳は(図3)、「賃貸用の住宅」が39.2%(22,000戸)、「売却用の住宅」が3.3%(1,900戸)、二次的住宅(別荘や残業時などにたまに寝泊まりしている人がいる住宅)が2.5%(1,400戸)で、それら以外の「その他の住宅」(居住世帯が長期にわたって不在の住宅や、建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など)が54.9%(30,800戸)となっている。

③ 市町村別空き家率

(以下市町村別データについて、標本数の関係から朝日町、舟橋村については公表しない)

空き家率は、黒部市が高く砺波市が低い

図4 市町村別空き家数及び空き家率(平成25年)



市町村別の空き家率では(図4)、最も高いのは黒部市(16.9%)、最も低いのは砺波市(8.7%)となっている。

2 「居住世帯のある住宅」(以下、単に「住宅」という)の状況

①住宅の建て方

一戸建率が高い富山県

図5 住宅の建て方別割合の推移(富山県:昭和53年~平成25年)

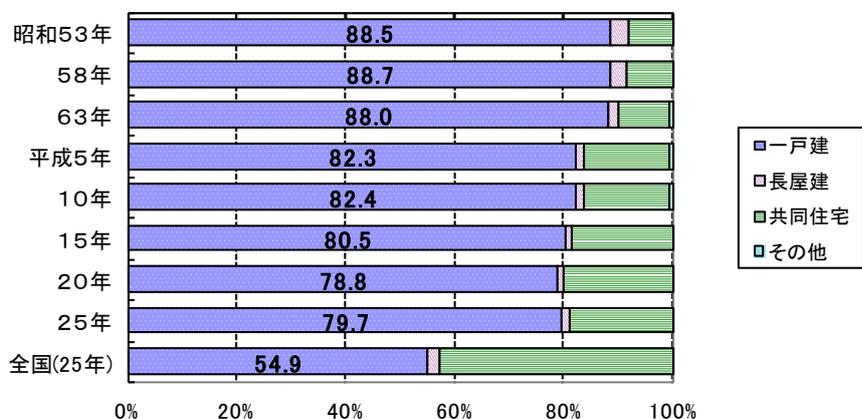


表3 都道府県別一戸建割合(平成25年)

順位	都道府県名	総数(戸)	一戸建数(戸)	一戸建率(%)
1	秋田県	389,000	315,000	81.0
2	山形県	383,900	306,500	79.8
3	富山県	379,800	302,800	79.7
4	福井県	265,200	208,100	78.5
5	和歌山県	388,100	298,200	76.8

住宅を建て方別にみると、一戸建は302,800戸、長屋建は5,000戸、共同住宅は71,400戸、その他は600戸となっている。昭和53年以降の推移をみると(図5)、一戸建の割合(一戸建率)は低下傾向、共同住宅は上昇傾向にある。

一戸建率は平成25年には79.7%となっているが、全国(54.9%)に比べ依然その割合は高く、全国第3位となっている(表3)。

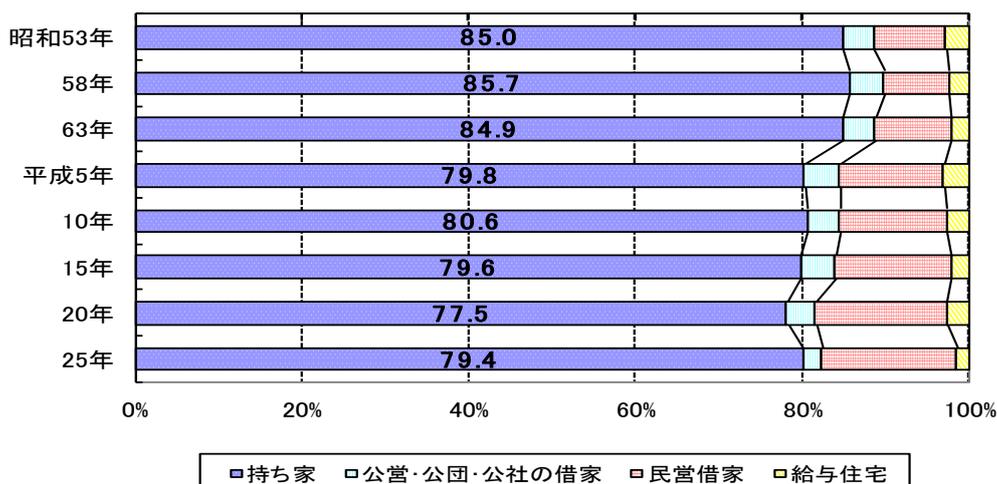
② 所有の関係

持ち家住宅率は79.4%で、全国第1位

表4 都道府県別持ち家住宅率(平成25年)

順位	都道府県名	総数(戸)	持ち家(戸)	持ち家住宅率(%)
1	富山県	379,800	301,600	79.4
2	秋田県	389,000	303,800	78.1
3	山形県	383,900	294,600	76.7
4	福井県	265,200	203,000	76.5
5	新潟県	835,100	630,800	75.5

図6 住宅の所有の関係別割合の推移(富山県：昭和53年～平成25年)



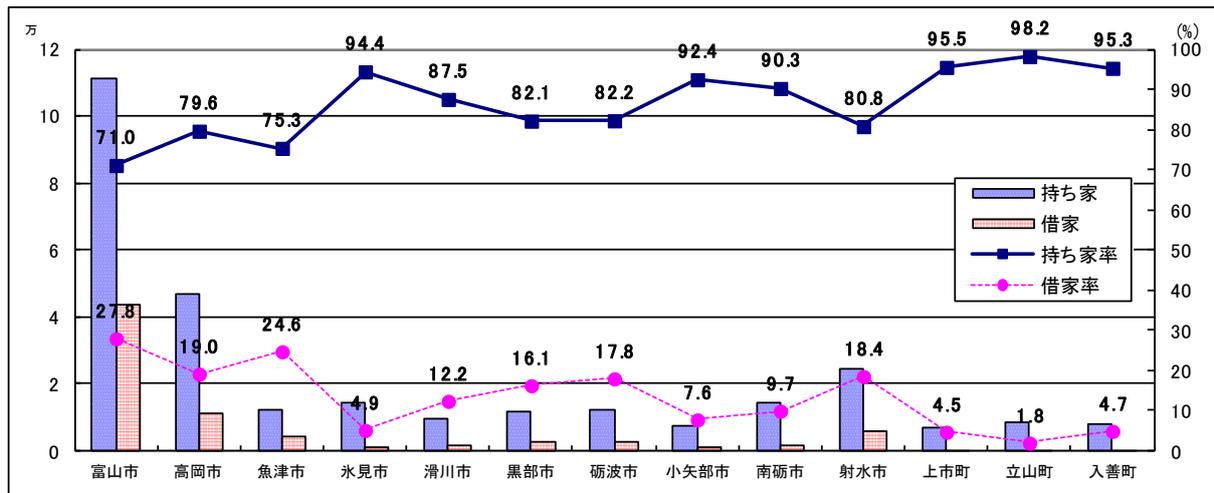
住宅を所有の関係別にみると、持ち家(そこに居住している世帯が全部または一部を所有している住宅。親の名義の住宅に住んでいる場合を含む。)が301,600戸で、居住世帯のある住宅全体379,800に占める割合(持ち家住宅率)は79.4%で、全国第1位となっている(表4、全国61.7%)。持ち家住宅率は、昭和63年までは85%前後となっていたが、平成以降は、ほぼ70%台に低下している。

一方、民営借家の割合は上昇傾向にあり、昭和 53 年に 8.6%であったが、平成 25 年には 16.0% になっている。(図 6、表 4)

持ち家住宅率は立山町・上市町などで高く、借家住宅率は富山市で高い

市町村別では、持ち家の割合立山町、上市町、入善町、氷見市、小矢部市、南砺市で 90% を超えており、借家の割合は富山市が 27.8%と最も高い。(図 7)

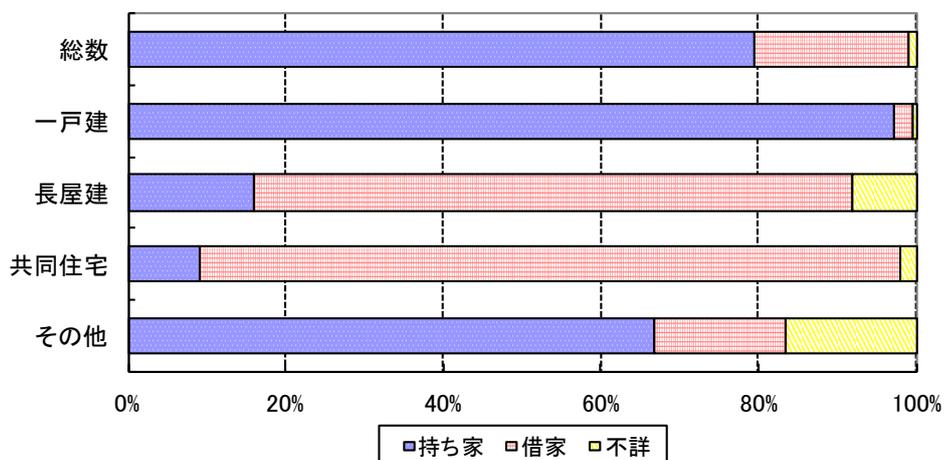
図 7 市町村別住宅の所有の関係(平成 25 年)



一戸建で多い持ち家の割合

住宅の建て方別に所有の関係別割合をみると、一戸建は持ち家が 97.1%、借家が 2.4%、長屋建は同 16.0%、76.0%、共同住宅は同 9.1%、88.9%となっており、一戸建では持ち家が、長屋建及び共同住宅では借家が大半を占めている。(図 8)

図 8 住宅の建て方別、所有の関係別割合(富山県：平成 25 年)



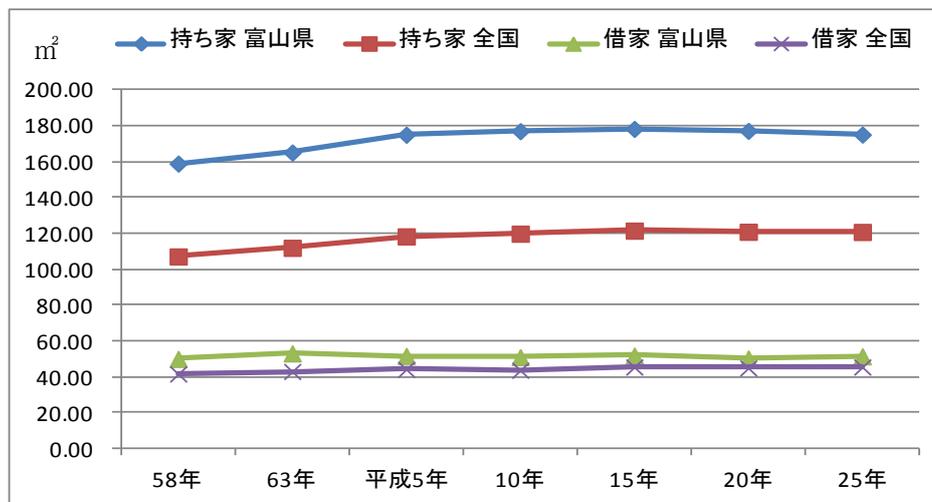
③ 住宅の規模

専用住宅の1住宅当たりの延べ面積は150.08㎡で、全国第1位

(表5) 専用住宅1住宅当たりの延べ面積(平成25年:㎡)

専用住宅	全国	92.97
	富山県	150.08
持ち家	全国	120.93
	富山県	175.26
借家	全国	45.59
	富山県	51.55

図9 持ち家・借家別にみた専用住宅の1住宅当たり延べ面積の推移(昭和53年～平成25年)

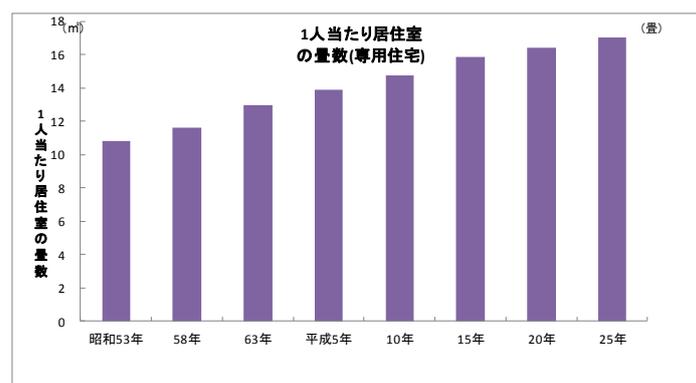


住宅のうち「店舗その他の併用住宅」を除く、居住専用にて建てられた「専用住宅(354,400戸)」の1住宅当たりの延べ面積は150.08㎡で、全国第1位となっている。これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家は175.26㎡、借家は51.55㎡で、持ち家の1住宅当たりの延べ面積は借家の3倍以上となっている。

全国との比較では、借家ではそれほど差はないが、持ち家では、富山県は全国の1.45倍程度となっている。(表5)

1人当たりの居住室の畳数は増加

図10 一人当たり居住室の畳数(専用住宅)の推移(富山県:昭和53年～平成25年)

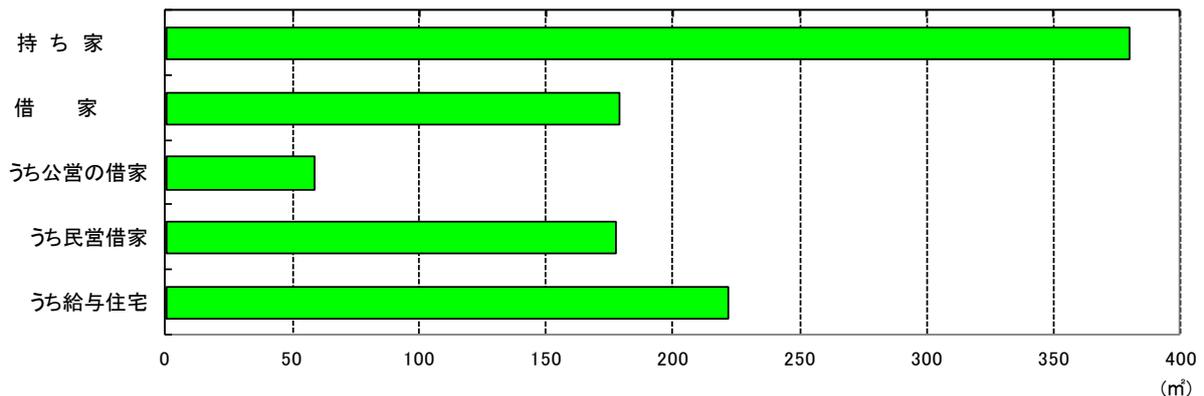


専用住宅における1人当たりの居住室の畳数は、昭和53年の10.82畳から平成25年の17.05畳へと増加している。これは、1世帯当たりの人員の減少（表1 昭和53年、3.91人→平成25年2.78人）によるところが大きい。（図10）

④ 敷地

持ち家の敷地面積は借家の2倍以上

図11 一戸建住宅の1住宅当たり敷地面積(富山県：平成25年)



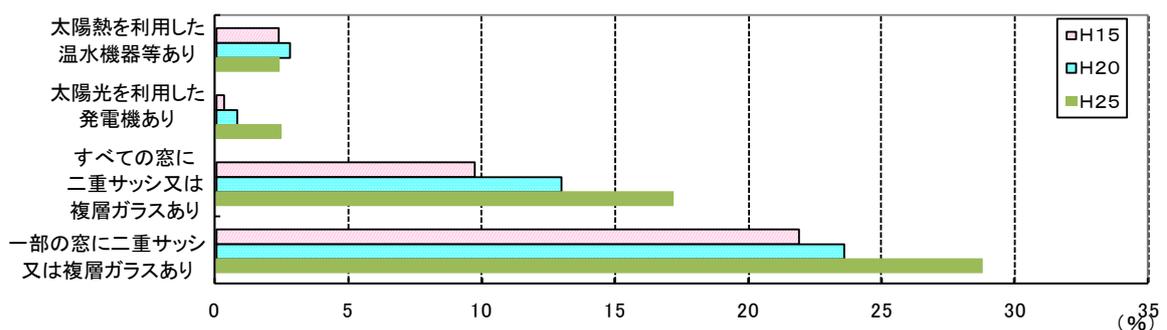
一戸建て住宅（302,800戸）について、住宅の所有関係別に1住宅当たり敷地面積をみると、持ち家は379.27㎡、借家は178.81㎡と持ち家は借家の2倍以上の広さとなっている。

（図11）

⑤ 設備

太陽光を利用した発電機器がある住宅は2.5%、10年で9倍

図12 省エネルギー設備等のある住宅の割合(富山県：平成15、20、25年)

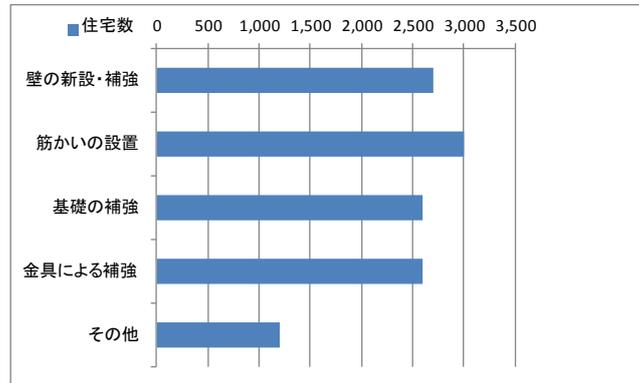


省エネルギー設備等のある住宅の割合をみると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」が2.4%、「太陽光を利用した発電機器があり」が2.5%、「二重サッシ又は複層ガラスの窓あり」の住宅は一部の窓にある住宅を含めると44.7%となっている。

また、平成15年と比べると、「太陽光を利用した発電機器があり」の住宅は約9倍、全住宅に占める割合は0.3%から2.5%に上昇し、「二重サッシ又は複層ガラスの窓あり」の住宅は約1.4倍、全住宅に占める割合は31.6%から44.7%に上昇している。（図12）

持ち家のうち平成 21 年以降に耐震診断が行われた住宅の割合は 5.8%

図 13 平成 21 年以降の耐震改修工事の件数（持ち家）（富山県：平成 25 年）



持ち家のうち、平成 21 年以降に耐震診断が行われた住宅は 16,900 戸で、持ち家全体の 5.6% となっている。そのうち耐震性が確保されていた住宅は 14,400 戸で同 4.8% となっている。

また、持ち家のうち、平成 21 年以降に耐震改修工事が行われた住宅は 6,300 戸で、持ち家全体の 2.1% となっている。工事の内訳をみると、「筋かいの設置」が 3,000 戸、「壁の新設・補強」が 2,700 戸、「基礎の補強」、「金具による補強」が 2,600 戸となっている。（図 13）

3 世帯の居住状況

① 世帯の持ち家率

持ち家世帯率(*)は年間収入が多い世帯ほど高い

(*)この調査では、持ち家に居住する主世帯の普通世帯全体に占める割合を「持ち家世帯率」と定義し、「持ち家住宅率」と区別している。

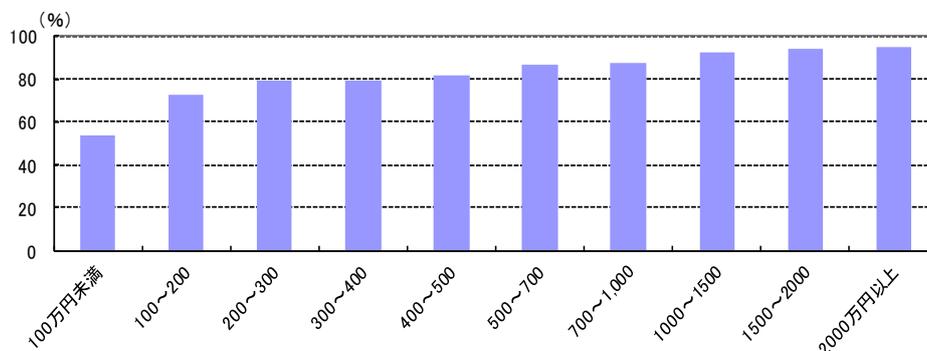
分子（は同じ）：持ち家に居住する主世帯数＝持ち家数。

分母（は異なる）：持ち家住宅率は居住世帯のある住宅数。持ち家世帯率は普通世帯総数・・住宅に居住する主世帯数（379,800）＋住宅に居住する 2 人以上の同居世帯数＋住宅以外の建物に居住する 2 人以上の世帯数

持ち家住宅率=301,600/379,800

持ち家世帯率=301,600/380,900

図 14 世帯の年間収入階級別持ち家世帯率（平成 25 年）

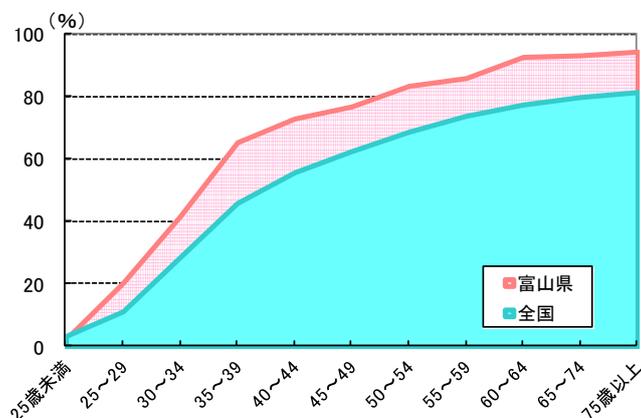


持ち家世帯率は年間収入が多くなるにつれてが高くなる傾向にあり（図 14）、「100～200 万円未満」の世帯で 72.7%、「500～700 万円未満」の世帯で 86.4%、「1,000～1,500 万円未満」の世帯で 92.2%などとなっている。

なお平成 25 年の富山県の持ち家世帯率は 79.2%(全国 61.5%)で、全国第 1 位になっている。

若いうちから持ち家志向

図 15 家計を主に支える者の年齢階級別持ち家世帯率（平成 25 年）



家計を主に支える者の年齢階級別に持ち家世帯率をみると、「25～29 歳」で 20.5%、「30～34 歳」で 41.9%、「35～39 歳」で 65.6%、50 歳以上では 8 割を超えている。

一方、全国の「25～29 歳」では 11.3%、「30～34 歳」では 28.7%、「35～39 歳」では 46.0%などとなっており、本県では若いうちから持ち家志向が高いことがうかがえる。